多摩市市制施行50周年記念 SDGsセミナー＆セッション

50年後も持続可能な多摩市のために、私たちがいま始めること

多摩市と多摩エネ協のこれまでとこれから
～　報告と提案　～

理事　高森 郁哉

これまでの(だいたい)50年の世界, 日本, 多摩市

1960s　大量消費社会、高度経済成長、
多摩ニュータウン開発計画が決定(65)
1970s　多摩“市”(71)、多摩NT入居が本格化
公害・環境問題の表面化、石油ショック
1980s　バブル経済、チェルノブイリ原発事故(86)、
恵泉 短期大学英文学科が多摩に移転(86)
1990s　バブル崩壊、阪神・淡路大震災(95)、
気候変動枠組条約締約国会議(COP)、京都議定書(97)
2000s　少子高齢化、人口減少社会、小中学校の閉校
2010s　東日本大震災と福島原発事故(11)、
再エネ普及加速、多摩エネ協(12)、SDGs策定(15)、
温暖化対策求める市民運動の高まり
2020s　コロナ禍、多摩市気候非常事態宣言(20)

これから50年の地域社会の課題（SDGs視点、市民目線で）

- **“万が一”に備える**……天災、大規模停電、パンデミック、経済危機
- **少子高齢化と人口減少**……多摩市では2027年頃から減少に転じるとの予測。住み続けたいまちにするには
- **ニュータウン再生**…都市再生機構（UR）の団地と都営住宅を含む集合住宅→リノベーションや建て替え→資産価値向上と環境配慮の両立
- **公園と緑の多い環境**……維持管理の課題にどう対処し、魅力あるまちづくりに活かしていくか
- **ジェンダー平等と多様性尊重**……女性国会議員の割合は世界191か国中161位の日本（9.9％、2020年）。多摩市議会は26議席中9人(34.6％)。教育の役割もより重要に
- **気候非常事態宣言、その先は？**……2050年までにCO_2排出実質ゼロ目標。地域全体が自分ごととらえ、具体的なアクションを協力して進めるにはどうするか

多摩エネ協と多摩電力

自然エネルギー地産地消と
循環型社会に向けた歩み

- 2011.3.11東日本大震災と福島原発事故がきっかけ
- 屋根借りによる都市型の市民発電所作り
- 再エネ普及・促進につながる啓発活動
- エネルギー地産地消と循環型社会の実現

2012年5月　多摩エネ協 設立

2012年10月たまでん 設立

http://tama-den.jp/

自然エネルギーで多摩の未来をつくる

多摩電力合同会社

多摩エネ協

- ●再エネ利用の拡大調査
- ●広報、啓発
- ●賛同者の輪の拡大

たまでん

- ●事業の実行

2013.5.28　多摩エネ協主催　@新宿ロフトプラスワン

高森　桃井代表　保坂展人・世田谷区長　阿部裕行・多摩市長　高橋真樹さん
古屋将太さん(環境エネルギー政策研究所)　大林ミカさん(自然エネルギー財団)

図 5 環境省「地域主導型再生可能エネルギー事業化検討」採択地域

環境エネルギー政策研究所（*ISEP*）資料

再生可能エネルギー事業化検討委員会
- 検討委員会において事業化モデルの検討
- 事業設立・運営支援

多摩市環境部、多摩信用金庫、日本財団、環境エネルギー政策研究所（ISEP）、東京都環境局、環境省地球環境局、
大学教授、技術者、弁護士、地域経営アドバイザー

検証
助言

報告
相談

多摩市循環型エネルギー協議会
- 事業化可否の決議
- 事業化検討協議会事務局機能

事業環境整備

発電事業主体（多摩電力合同会社）
- 屋根借り太陽光発電事業の実施
- 資金調達
- 事業責任

恵泉大に市民発電所第1号！

2013.7 発電開始式　南野校舎屋上&オーガニックカフェ

次世代リーダー育成プログラム 2013-15

恵泉スプリングフォーラム2019
見学会&清掃体験

多摩市所有施設における太陽光発電事業基本協定

多摩市＋多摩電力＋多摩エネ協　2014年2月調印

- 多摩市の公共施設の屋根を多摩電力が賃借し、ソーラーパネルを設置して発電事業を行う
- 設置可能面積、日照等の条件を調査検討した結果、計9施設を選定
- 市立小中学校×5、市営住宅×2、資源化センター（エコプラザ多摩）、ゆう桜ケ丘（コミュニティセンター）

みんなで広げよう！ コミュニティ・パワー

Community Power

たまでん 11 号発電所
関戸第 1 住宅
49.5kW

たまでん 12 号発電所
関戸第 2 住宅
49.5kW

たまでん 3 号発電所
多摩第一小学校
49.5kW

たまでん 13 号発電所
（青梅市）
青梅市立美術館
30kW

たまでん 10 号発電所
（日野市）
GE ヘルスケアジャパン
49.5kW

たまでん 2 号発電所
ゆいま～る聖ヶ丘
56.4kW

たまでん 7 号発電所
ゆう桜ヶ丘
（コミュニティセンター）
49.5kW

たまでん 5 号発電所
大松台小学校 49.5kW

たまでん 9 号発電所
聖ヶ丘中学校
49.5kW

たまでん 4 号発電所
聖ヶ丘小学校
49.5kW

たまでん 8 号発電所
鶴牧中学校
49.5kW

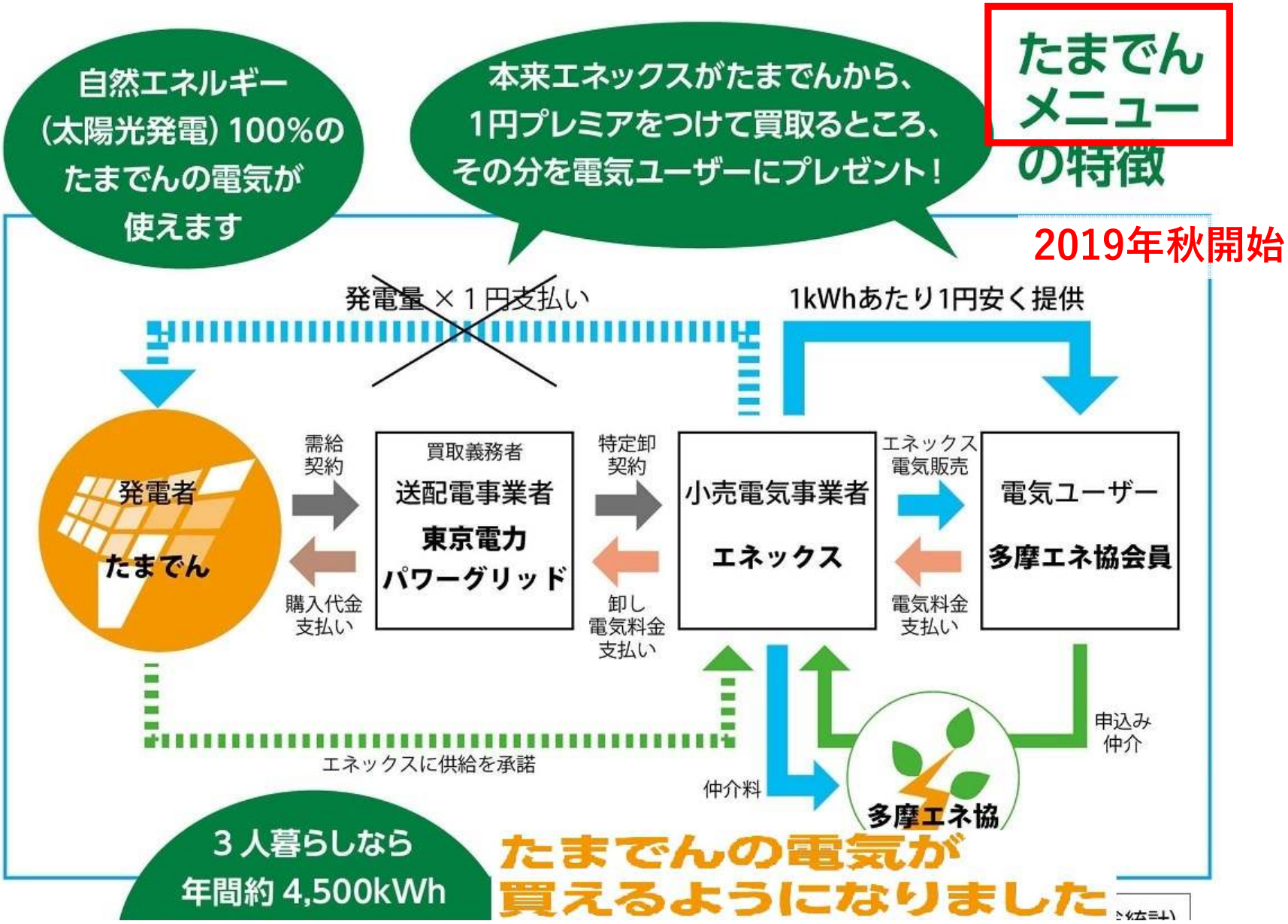
たまでん 1 号発電所
恵泉女学園大学
30kW

たまでん 6 号発電所
エコプラザ多摩
（資源化センター）
18.2kW

13

市民発電所

エネルギー地産地消へのステップ



気候危機と地域の取り組み

多摩循環型エネルギー協会 設立7周年記念講演会

京都議定書からパリ協定 そして原発ゼロへ

2019.6

浜中 裕徳（はまなか ひろのり）

止まらない 地球温暖化

1997年、COP3において
京都議定書締結。

元環境省地球環境審議官
地球環境戦略研究機関
特別研究顧問

そして、原発ゼロ社会へ

経済的にも
破綻している原発。

弁護士、映画監督
「日本と再生 光と風の
ギガワット作戦」

河合 弘之（かわい ひろゆき）

～17:00

2分

定書からパリ
暖化を前に、
きるのか

06-0024 東京都
070-5369-0230
://:tama-eneky

多摩市気候非常事態宣言 記念　オンライン講演会

気候危機への取組みと コロナ禍からの グリーン・リカバリー

2020
8/22（土）

浜中 裕徳 氏
公益財団法人 地球環境戦略研究機関特別研究顧問
一般社団法人イクレイ日本理事長

多摩市消費生活フォーラム
&エコ・フェスタ 合同開催 2020

多摩市気候非常事態宣言記念シンポジウム

2050年 CO_2 排出実質ゼロに向けて
さぁ私たちは何をする？！

持続可能な多摩市と温暖化対策に向けた提案

気候非常事態宣言、その先は？……2050年までにCO2排出実質ゼロ目標。地域全体が自分事ととらえ、具体的なアクションを協力して進めるにはどうするか

行政へのリクエスト！：**温暖化対策に地域全体で取り組む**ためのプラットフォーム（場）づくり

提案：産学官民（マルチステークホルダー）が参加する**温暖化対策協議会**(仮称)の設立

1. 情報の共有と現状把握
2. 具体的な目標と行動計画、はかどり具合のチェックと効果測定
3. 組織の枠や世代を超えた連携の促進。**特に若い世代と！**
4. 地域での取り組みの実践を支援
5. 温暖化対策を“自分ごと”ととらえる人・団体・企業を増やすための情報発信力の強化

よりよい未来を、みんなの手で。